【告】懲罰委員会決定 令和7年 懲罰第001号

懲罰委員会は監事（302号室区分所有者・上部嘉子氏）に対する懲罰を下すことを決定した。

<理由>

第44期の全期間を通じて監事へ全ての月度ごとの監事監査報告書の閲覧請求をしたが、全ての月度について無視された。

これは任務に背いた行為（背任）である。

<参考>

https://laws.e-gov.go.jp/law/140AC0000000045#Mp-Pa_2-Ch_37

（刑法で定められた背任罪）

第二百四十七条 他人のためにその事務を処理する者が、自己若しくは第三者の利益を図り又は本人に損害を加える目的で、その任務に背く行為をし、本人に財産上の損害を加えたときは、五年以下の拘禁刑又は五十万円以下の罰金に処する。

ここで第三者とは、現在判明しているうちの一部の例を挙げればエントランスの破壊者を監事への月次閲覧報告書閲覧請求を敢えて無視したことにより破壊者を特定できる機会を奪った。

他にも余罪があるかもしれないが、すべての月次の報告書閲覧を拒否したことにより管理組合（法律内の文言では「本人」に相当する）に損害を加えたことに他ならない。

管理会社からの月次報告書を待つ必要は全くなく、誠実に監事義務を遂行していたらエントランス破壊に責任を持つ者を特定できたことは間違いない。

監事による義務遂行拒否により防犯カメラ装置（近隣への協力を含め）の画像保管期限が過ぎた。故意に拒否して管理組合へ損害を加えた罪は極めて重い。

また他の事件も月次報告書の閲覧を毎回拒否し、度重なる催促、質問に応じず頑なに拒否（又は無視）していた。即ち監事として誠実な任務遂行をしなかった。

したがって懲罰委員会は監事・302号室区分所有者・上部嘉子氏に対して懲罰を下すことを決定した。

罰金額など懲罰の内容は今後の尋問に対しての誠実度、拒否を重ねた報告書の提出遅延日数により検討及び按配して決める。

これらの取り調べの最終締め切り日を令和7年（2025年）10月6日とする。懲罰内容の決定は令和7年10月20日とする。

懲罰内容の決定や詳しい説明は懲罰委員会から本人（第44期監事・302号室・上部嘉子氏）の郵便受けと電子メールとホームページへ通知公開する。

以上